

## 助動詞「む・むず」確認テスト（推量・意志ほか） 解答・解説

### ■ 解答・解説

問1 イ（意志）。「(私が) ぼたもちを作ろう」と、話し手が自分のこれからの行動を決めている場面なので意志です。

問2 この「む」の主語は話し手自身（一人称＝私）であり、自分がこれからしようとする動作を表しているから、意志の意味になる。

問3 サ変動詞「す」の未然形「せ」。「む」は未然形接続なので、上のサ変動詞「す」は未然形「せ」になっています。

問4 推定（または婉曲）の助動詞「めり」。終止形（ラ変型には連体形）に接続し、「～のように見える・～ようだ」という意味を表す。助動詞「む」とは別の語である。

問5 ウ（勧誘）。「さあいらっしゃい、出雲を拝みに。ぼたもちを召し上がらせよう（＝召し上がりませんか）」と、話し手が相手を誘っている場面なので、適当・勧誘（ここでは勧誘）です。

問6 イ（意志）。「われこそ死なぬ」は「私こそ死のう（死んでしまおう）」と、話し手（一人称）の強い決意を表している所以意志です。

問7 已然形（いぜんけい）。直前に係助詞「こそ」があるため、係り結びの法則によって結びの語が已然形になり、「む」は已然形「め」になっている。

問8 未然形。「む」は未然形接続なので、ナ変動詞「死ぬ」はその未然形「死な」になっています。

問9 ウ（婉曲）。「心あらむ友」は「(もし) 情趣を解するような友」の意味で、「友」という体言に続く連体形の「む」なので婉曲（～ような）です。

問10 連体形。直後に「友」という体言（名詞）が続いており、体言に続く活用語は連体形になるため、「む」は連体形になっている。

問11 「君や来む」＝推量（あなたが来るだろうか）。主語が二人称でも、ここは「来るだろうか」と相手の行動を推し量る言い方なので推量。「我や行かむ」＝意志（私が行こうか）。主語が一人称（私）で自分の行動を表すので意志。※「～や…む」は疑問の形で、どちらにしようかと迷う気持ちを表しています。

問12 勧誘。現代語訳「さあ、いっしょに帰りましょう。」相手に「いっしょに～しよう」と呼びかける場面なので勧誘です。

問13 （例）「さあ、いっしょに帰りましょう。」相手を誘う勧誘（～しましょう・～ませんか）の意味が出ていればよい。

問14 ウ（婉曲）。「花咲かむ春」は「花が咲くような春」の意味で、「春」という体言に続く連体形の「む」なので婉曲です。

問15 （例）「花が咲くような春」。婉曲（～ような）の意味が出ていればよい。

**問16** 已然形。直後に接続助詞「ば」があり、「～ば」が「すでに～なので・～すると」の意味（已然形＋ば）で続いているため、「むず」は已然形「むずれ」になっている。（「むず」はサ変型に活用し、已然形は「むずれ」。）

---

**問17** 連体形。直後に断定の助動詞「なり」が続いており、「なり」は連体形に接続するため、「むず」は連体形「むずる」になっている。（「むず」はサ変型に活用し、連体形は「むずる」。）

---

**問18** 婉曲・假定。文中で体言に続く連体形の「む」は、推量・意志ではなく、婉曲（～ような）や假定（もし～なら、その～）の意味になりやすい。

---

**問19** ア（四段型）。助動詞「む」は四段型の活用をします。

---

**問20** （未然形）○・（連用形）○・（終止形）む・（連体形）む・（已然形）め・（命令形）○。「む」は終止形・連体形・已然形の三つだけに活用形があり、未然形・連用形・命令形はありません。

---

**問21** 未然形。助動詞「む」「むず」は、活用語の未然形に接続します。

---

**問22** 「むず」は、助動詞「む」＋格助詞「と」＋サ変動詞「す」が結びついた「むとす」が縮まってできた語である。すなわち「む＋と＋す」→「むず」。

---

**問23** 「むとす」は「～（し）ようとする」という意味で、もともと推量・意志を表す「む」を含んでいる。それが縮まった「むず」も、その「む」の意味を受け継ぐため、「む」とほぼ同じく推量・意志などを表す。

---

**問24** 意志は「自分の心の中」で自分がこれからしようと思うことなので、主語が一人称（私）のときに合う。適当・勧誘は「相手への働きかけ」で、相手にこうしてはどうかと勧める言い方なので、主語が二人称（あなた）のときに合う。推量は自分でも相手でもない第三者やものごとを想像する言い方なので、主語が三人称のときに合う。だから人称によって意味が決まりやすい。

---

**問25** 助動詞「べし」の連体形「べき」。例文④は「久しかる」（形容詞のかり活用連体形）に、例文⑤は「住む」（動詞の終止形）に続いており、いずれも推量・意志などを表す「べし」の連体形である。助動詞「む」ではない。

---